

## 「イタリア野菜栽培研修会」

### 【事業目的】

食の多様化で、イタリア野菜を中心に西洋料理の需要が増加している。  
高級西洋料理店は、ヨーロッパ種の野菜を使用する大半は欧州からの空輸に頼っており、低鮮度・高価格で取引されている。  
それを解決する国産品供給の市場ニーズが高まっており、イタリアと同一緯度で気候・風土がよく似た秋田の本荘・由利地域で拡大し、市場ニーズに応えるとともに地域農業の活性化を目指す。

### 【事業実施状況、成果】

イタリアヴェネト州とレヴィーゾ県の生産組合の農業指導者ルチアーノ・ピエトロボーン氏を招聘し、イタリア野菜の栽培方法について事業に参加する栽培農家が研修を受けた。  
特に日本での栽培の成功事例が少なく高価な特殊野菜である「トレヴィーゾ・チコリ」「フェンル」等についての詳細な指導をしていただき、参加者からも土壌や発芽についての具体的な質問も出された。

主な質問内容は、

- ①土壌のPHをどのように合わせるか
- ②播種の時期は、秋田の気候ではどの時期が良いか
- ③生育期間はどのくらいが予想されるか
- ④収穫後の保管はどのようにするか

など、秋田の気候に合わせた場合に想定されることについて質問が出された。トレヴィーゾ県は秋田と似た気候であり、生育の状況がほぼ同じであろうこと、また、治外として湿度がトレヴィーゾ県より高いことが想定されるので、高湿度対策を高むねや播種間隔を広げることに対応することなどの指導を受けた。



#### ●研修会日程（2010年7月26日～7月29日）

- |           |                       |                  |
|-----------|-----------------------|------------------|
| ・7月26日（月） | 全体研修会（講義）             | 於）本荘由利産学共同研究センター |
| ・7月27日（火） | 現地個別研修会（土づくりと播種の実施指導） | 於）由利本荘市八島町桃野     |
| ・7月28日（水） | 現地個別研修会（土づくりと播種の実施指導） | 於）田沢湖高原          |
| ・7月29日（木） | 現地個別研修会（播種と苗づくりの実施指導） | 於）大仙市南外          |

### 【今後予想される事業効果】

由利本荘地域は、野菜や果物には特段特産といえるものがないが、この事業を通じて「イタリア野菜」でも付加価値の高い「トレヴィーゾチコリ」の産地として地場産業の発展につなげることができた。参加農家が確実な栽培の方法を学ぶことができ、初年度は6000程度を試験的に栽培し、産地形成の一步を踏み出すことができた。

今後3年計画で播種時期をずらしながら栽培期間や販売期間をより長くすることで農家の所得向上につなげていくことができると考えられる。また、今年度の具体的な実施データを基に、毎年栽培農家を増やしていくこと、栽培の結果を基に生産物のクオリティーを毎年上げることで、他に追従されない品質の高いものを供給できる産地にできると思われる。

来年度は、今回の受講をイタリア国と同時連携生産で本格的に、栽培・生産を実施する。